

研究課題名：

SPECT-CT 装置を用いた心縦隔比算出の精度向上に関する研究に関する 情報公開

1. 研究の対象

2013年7月1日～2014年4月30日までに当院で心筋交感神経シンチグラフィ検査において SPECT-CT 撮影、プラナー撮影を行なった方

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究では、SPECT-CT 装置から得たデータを利用して仮想的なプラナー画像 (Synthetic planar 画像:Sy planar 画像) を作成し、心筋部と縦隔部を明瞭に描出することで正確な関心領域の設定を可能とし、高精度な関心領域の設定を目的とする。方法としては、当院で行われた心筋交感神経シンチグラフィ検査を行なった 30 症例に対して、SPECT-CT 画像と減弱マップを使用して Sy planar 画像を作成し、HM 比を算出する。従来のプラナー画像と Sy planar 画像から算出した HM 比を比較し、同等の結果が得られるかの検証や CT 画像を利用した関心領域の設定を行い、設定者ごとの関心領域の設定の変動を抑制できるかの検証を行なう。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

SPECT-CT 画像、シンチグラフィ、年齢、性別、病歴 等

4. お問い合わせ先

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻医用量子科学講座・
教授・加藤克彦

名古屋市東区大幸南 1-1-20 Tel：052-719-1950

katokt@med.nagoya-u.ac.jp

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻医用量子科学分野・
博士前期課程 1 年・椋本竜斗

苦情の受付先：名古屋大学保険学科庶務係 Tel：052-716-1504